



九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」 No.204

2012(平成24)年12月 3日(月)発行



○71年前の1941(昭和16)年12月8日(ハワイ時間で7日)は日本軍のハワイ真珠湾奇襲の日。ハワイオアフ島真珠湾の「アリゾナ記念館」(写真)に日本人の訪問者は少なく、アメリカ人や中国人が多いそうです。でも、ワイキキビーチには日本人観光客があふれていて、日本人の歴史認識のなさが批判されています。
○「アリゾナ記念館」は12月8日の奇襲で撃沈された戦艦アリゾナの上に作られた記念館で、今でも1,177人の戦死者は戦艦とともに沈んだままで、燃料油が毎日海中から出続けているそうです。



11党首ずらり

▲11月30日現在、日本記者クラブ主催の党首討論会の11党首不謹慎ですが「クイズ」を。Q. 左の①~⑪の正しい氏名をお当てください。

記念撮影のため手をつなぐ(左から)①庄三郎(国民新党代表、福島②) 社民党党首、③和夫(共産党委員長、山口④) 公明党代表、⑤晋三(自民党総裁、野田⑥) 民主党代表、⑦由紀子(日本未来の党代表、石原⑧) 日本維新の会代表、⑨渡辺(みんなの党代表、鈴木⑩) 新党大地代表、⑪舛添(新党改革代表、30日、東京・内幸町、櫻山晃生撮影)

■主要政党の憲法改正に対する態度

政党	態度
民主党	憲法を活かし、「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義」を徹底
自民党	自主憲法制定。国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の三つの原理は継承。天皇陛下を国家元首に規定。国防軍を保持することを明記
公明党	現行憲法を高く評価した上で、環境権やプライバシー権を新たに加える「加憲」の立場
共産党	明文改憲も解釈改憲も許さず、9条を守る多数派形成に全力をあげる。平和・人権・民主主義の原則を国政の各分野に生かす
日本維新の会	自主憲法を制定し、決定できる統治機構を本格的に再構築する
みんなの党	将来的に憲法改正手続きを簡略化し、首相公選制を導入。「地域主権型道州制」を導入した後、衆参両院を統合して一院制へと改める
社民党	平和憲法は変えさせない。憲法の保障する諸権利の実現を第一とする
国民新党	自主憲法制定。日本を世界から尊敬され、信頼される国家に脱皮させる
新党大地	9条の戦争放棄は守りつつ、時代に合った憲法にする
新党日本	憲法改正。衆参両院を廃止し、一院制国会を創設する
みどりの風	時代や社会の変化に対応した憲法改正は可能であるべきだが、まずは国民投票を導入することが現実的
新党改革	日本を新生する、新たな時代にふさわしい憲法改正を議論していく

【政党綱領、公約集などから引用。「日本未来の党」は28日に結党を届け出たが公約集などは未発表。「日本維新の会」は29日に公約を発表予定】

▲11月29日現在の各政党の憲法改正に対する態度 (11月29日付『朝日新聞』より)

<憲法改正を主張する声が強い中で>

今こそ“憲法9条”を護りたい!

衆院総選挙は12月4日公示、16日投開票ですが、11月30日現在<上写真>のように、11の党が乱立しています。「原発」や「消費税」「TPP」に押されて「護憲」の声が霞んで、「福島の復興」も全く聞こえてきません。最も心配なのは、閉塞打開のために「憲法改正」を公約に掲げる政党も多く、総選挙の結果によっては、日本国憲法、特に「9条」は危急の時を迎えます。まさに、全国の「九条の会」の存在意義や活動が問われようとしています。

意外に難しいです

<答>

- ① 自見
- ② 瑞穂
- ③ 志位
- ④ 那津男
- ⑤ 安倍
- ⑥ 佳彦
- ⑦ 嘉田
- ⑧ 慎太郎
- ⑨ 喜美
- ⑩ 宗男
- ⑪ 要一

⑫ 上記政党の他に、田中康夫・新党日本代表

「九条の会の正念場の時です」

《会員の皆様からのお便り》

□首相や知事を投げ出したゾンビが、国防軍、核兵器、徴兵制、憲法改正を主張して呆れるばかりです。9条も、「九条の会」も正念場の時で、子や孫たちのためにも憲法を守りたい。(原町区・Yさん)

□いつも会報を楽しみに読ませて戴いております。199号に菅野礼子さんの震災体験が載っていますが、私も菅野さんと同じ浪江町津島出身ですので、放射線と云う悪魔におびえ、故郷を離れて過ごしている人達を思う時、本当に気の毒でなりません。自然豊かな津島地区、思い出の平和公園も今どうなっておるのでしょうか。原発は全廃して戴きたい。若い人達が一刻も早く自宅に戻れるようにと祈念しております。(原町区馬場・羽根田ヨシさん・鹿島区仮設住宅にて)

□南相馬市生まれで青森市に嫁いだ主婦で、会員です。震災後一時、福島の子や孫を預かっていました。現在は青森の女性たちに数回、千数百人に、南相馬市の被災の状況、震災で大変苦しんでいる現状や、南相馬市に住む母や親戚の様子を発表し伝えています。(青森市・Oさん)

十一月七日夕焼け空の下、人影もない小高駅駐輪場。



《JR小高駅駐輪場 置き去りの自転車が数百台》

この高校生たちは今どうしているだろう…

JR常磐線小高(おだか)駅は震災以後閉鎖され、駅の南の駐輪場にはあの3月11日の朝、笑顔で登校の高校生たちが駐輪した数百台の自転車がそのままになっています。震災直後に電車は不通になり、事故の原発から20キロ圏内警戒区域で立入禁止になってしまった小高駅や、高校生たちの自宅。自転車の高校生たちはあの日どうなって、その後どんな生活を送ったのか。学校は？進学や就職は？

震災からもう1年9ヶ月、今はどこでどうしているだろう。家族や友人たちとは…。悲しい駐輪場に涙が出てきます。

《事務局より》

皆様よいお年をお迎えください
お便りをお待ちしています!



○今号が今年2012年最終の会報です。
来年こそ希望の明るいよい年になりますように。
○震災体験、近況、訴えたいことなど、会報掲載用に、事務局に「お便り」をお寄せください。
○新年1月、南相馬市成人式に「憲法」配布します。

◆会員の皆様には、常に何かすっきりしない気持ちで日々お過ごしのことと思います。除染も、廃炉に向けての作業も遅滞として進みません。今度の衆議院選挙は大事な大事な選挙です。憲法9条を守ることの大切さを、周囲の人にも皆で広報しましょう。<平田>

◆震災後、会員や市外の方からのカンパが増え、10・11月になって会費納入者が増えています。ご支援ご協力に感謝申し上げます。ここ2年間の「会計報告」は1月の会報でお知らせいたします。<会計・井上>

◆風雲急を告げる。世の中を変えるチャンスだ。この機会に変わらなくてはならない。しかしこれは、幻影かもしれない。真に未来を考えるならば、100年先、1,000年先…を考えるならば、もう放射能はごめんだ。<石田>



《「はらまち九条の会」事務局連絡先》

○会長: 平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TE0244-22-0326
○会計: 井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892
○事務局長: 山崎健一 TEL090-7527-5453 (避難先: 〒213-0033 神奈川県川崎市高津区下作延4-26-43 セトル溝ノ口505 Eメール: yamazakiken1@gmail.com) ○HP担当: 大浦祥見・佐藤喜彦 ○番場恵子(県外に避難中)

◆憲法9条を守ることも、原発を即なくすことも、私にとっては自明のことなのです。それでも地球は回っていると言った先人の自明と同様に。「マッチポンプ」ならぬ「燐寸団扇」などの言説には夢惑わされてはならないと思っています。<早坂>

◆世の中が不安定なことを利用しているみたいに、色々な政治家達が大声で改憲を出してきました。「憲法9条がいじられると、日本が戦争をする国になってしまうぞ」ということを、今こそ一人ひとりが自分の周りの人達に訴えなくては、ですね。<番場>

◆今なお国家間や国内の争いを武力で争っても、解決は遠のくだけです。憲法第9条の歴史と真実と法の下での武力に頼らない、別の道こそが大道と見たい。尖閣諸島も歴史の真実を日本はなぜ堂々と世界に正論を表示しないのか?<大浦>

◆16万人もの原発難民を出したままで、どこが収束か、何が「憲法改正」か。原発事故の責任も曖昧で、避難者のことや福島の復興や沖縄問題を訴える総選挙の候補者は少ない。新聞、テレビではまた世論操作が行われているように思える。もう騙されないようにしたい。<山崎>

